

(別紙4(2))

事業所名 グループホームたなお

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 3 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	コロナ禍の影響で、地域と連携した防災訓練が2年間実施できていない。入居者の身体機能の低下もあり、今まで以上に地域の協力が必要な状況である。	年に1度の地区防災訓練に参加し、地域の人との連携の強化を図る	定期開催される、種生地区自主防災会議に管理者が参加し、地域の方の協力の必要性を伝えていき、実際の地区の訓練に参加することで、理解してもらう	12ヶ月
2	4	コロナ禍においても運営推進会議をできる限り、対面会議としていたが、参加される方が少数で、多くの意見を反映できていない	感染状況に考慮しながらも、多くの方に参加して頂けるように、会議内容の見直し、参加頂けなかった方からも意見を伺える様にする	市内の他のホームの運営推進会議に参加させて頂き、当ホームの会議内容改善を図る。欠席の家族へ会議内容及び意見を伺う書類の送付を行い、意見収集を図る	6ヶ月
3	26	コロナ禍で全体的な面会の減少もあり、家族からの介護計画への要望の反映が十分には行えていない。また、新しい職員も多く、職員を含む介護計画の立案が不十分	本人・ご家族、スタッフと多角的な視点でのアセスメント、ニーズ把握を行い、より本人に沿った介護計画の立案を図る	介護計画更新の前の月には、ご家族へ介護計画の要望に関する書類を送付し、意見の集約を図る。また、担当スタッフを中心に連携しながら、本人に沿った介護計画の立案を図る	6ヶ月
4	13	コロナ禍において職員の外部研修参加機会が減少しており、研修を通じた他事業所との情報交換などの機会が無くなっている。その事で、事業所内のケアのマンネリ化にも繋がっている	オンラインを中心とした、スタッフ一人一人の習熟度に合わせた、研修(人材育成)計画を立て、他事業所との交流を図りながら、学ぶ機会を増やし、日々のケアの質の向上を図る	スタッフ一人一人の習熟度に合わせ、オンラインを中心とした、研修計画を策定。研修を通し他事業所のスタッフとも情報交換を図る事で、気づきを増やす	12ヶ月
5	42	現在、月2回盛田歯科の往診があり、義歯等に不具合がある入居者は見てもらっているが、それ以外の入居者は、口腔内の衛生確認が定期的には行えていない	不具合が生じてから診察するのではなく、定期的に歯科衛生士等による口腔衛生の確認を行うことで、予防を含め口腔衛生の保持を行う	本人・ご家族に定期的な歯科往診の希望を確認し、希望に沿いながら、口腔衛生の確認を行っていく	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。